

# 金沢方式で無電柱化を推進します

金沢市では、昭和61年から、美しい景観の創出や安全で快適な歩行空間の確保などを目的として、国、石川県、電線管理者の協力を得て、幹線道路や文化的景観地区、商業地区などを中心に無電柱化整備が行われてきました。

その後、平成21年1月に全国第1号の「歴史都市」に認定されたことなどを踏まえ、金沢のまちなみの特徴を活かし、様々な整備手法を取り入れた「金沢方式無電柱化推進実施計画」を策定し、金沢を象徴するまちなか区域860haを無電柱化促進区域に位置付け、重点的に整備を進めてきました。

新幹線時代を迎え、新たな都市像『世界の「交流拠点都市金沢」をめざして』を掲げる今、地域の皆様とともに無電柱化事業を推進し、安全で美しく魅力あるまちづくりを実現していきたいと考えています。

# 無電柱化の手法

無電柱化には様々な手法があります。当該路線の道路構造や沿道の土地利用、建物状況などの条件に応じた手法を選定していきます。

### 裏配線・脇道配線

～最も低コストな手法～

無電柱化したい当該道路の裏通りや、脇道から電線を配線する方法  
裏通り等に架空で電線類が残る

**条件** 家屋の裏側も道路などの公共空間に面し、配線・保守管理が可能なこと

**適所** 並行する裏通り、脇道がある地区

### 軒下配線（壁面配線）

～歴史的まちなみなどに効果的～

電線類（高圧線を除く）の一部を軒下や壁面に設置する方法  
電力等の附属機器は別途、地上型もしくは柱状型により設置する

**条件** 家屋が接続しており、軒の高さがおおむね一様

**適所** 歴史的まちなみのある地区  
重伝建地区など

### 既存ストック活用

～地中の資源を有効活用～

ライフライン等の空きスペース（流雪溝や通信管路など）を活用して、電線類等を入線する方法

**条件** 道路整備で不要となる側溝があるなど利用できるストックがある箇所

### 浅層埋設（小型トラフ方式）

～施設をコンパクトにして土木工事費用を削減～

主に電力ケーブルを小型トラフと呼ばれる機器におさめ、従来より浅い土盛りで埋設する方法

**条件** 直線的な道路構造で、電力の需要が少ない歩行者専用道路や交通量が極めて少ない道路

### ソフト地中化（柱状型機器）

～地上に機器を置かない～

低圧分岐機器の一部を照明柱に埋め込む、または照明柱に開閉器・変圧器を添架する方法

**条件** 機器を埋め込んだり、添架する共用柱の設置が可能であること

**適所** 歩行者専用の細街路など地上機器設置が困難な箇所

### 完全地中化方式

～従来からの方式～

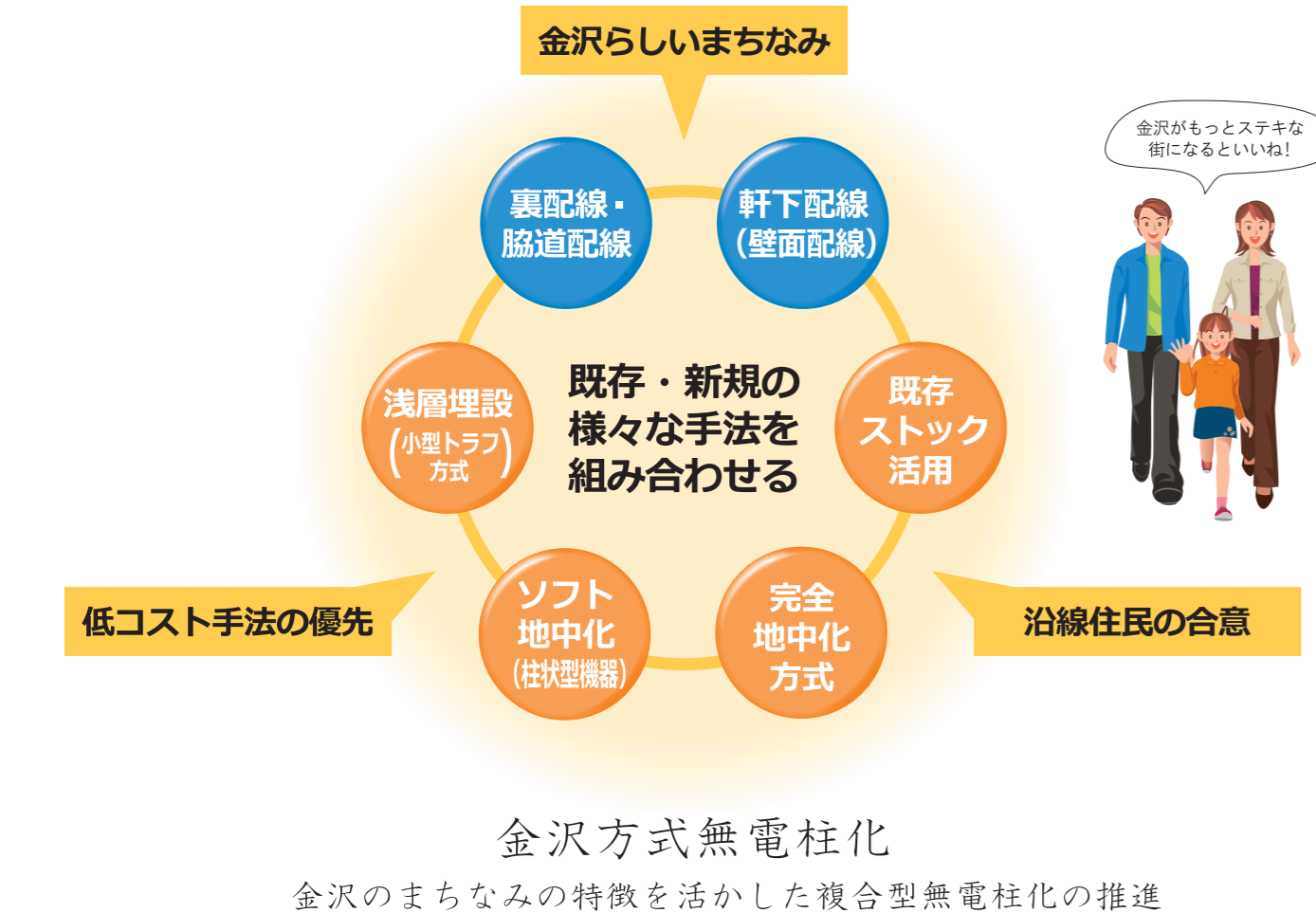
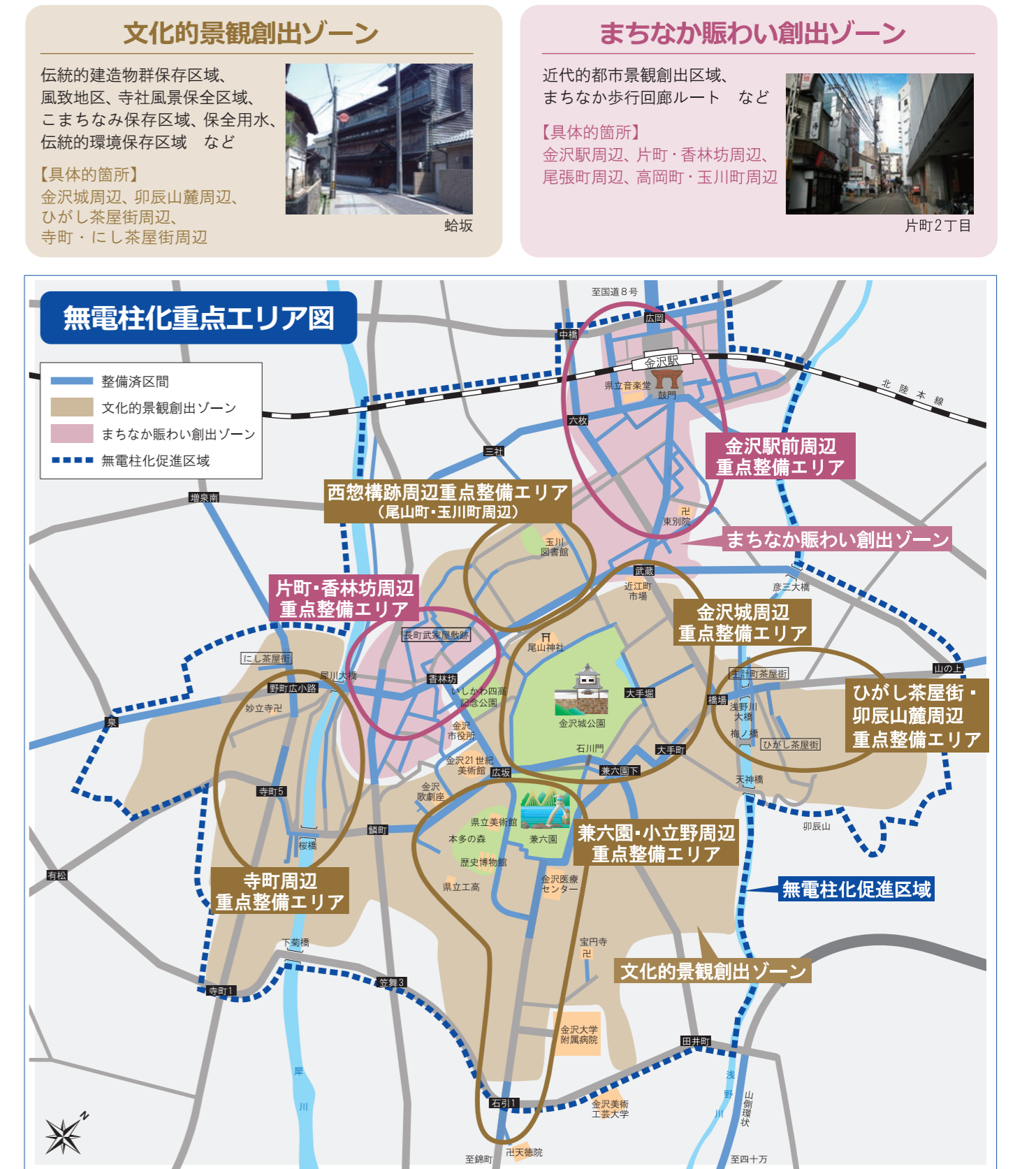
電力・通信の幹線ケーブルを地中化し、変圧器等の機器を地上に設置する方法

**条件** 電線管、ハンドホールなどを埋設できるスペースがあり、地上機器を設置する場所が確保できる箇所

# 中心市街地で無電柱化を実施します

## 無電柱化重点整備エリア

無電柱化は、歴史遺産の整備と並行して、金沢城を中心とした文化的景観創出ゾーン、金沢駅から香林坊・片町にかけてのまちなか賑わい創出ゾーンで整備を進めます。



新たな都市像『世界の「交流拠点都市金沢」をめざして』


平成25年3月に策定したこの都市像では、まちの個性を大切に守り、磨き高めることによって、このまちに魅力と品格を与えてきた、これまでのまちづくりの基本を受け継ぎながら、国内外から人・モノ・情報の集積を図り、同時に発信していくことにより、持続的な発展を続けるまちをめざしています。

# 無電柱化の効果

**良好な景観の創出**

**メリット**  
電柱や上空に張り巡らされた電線類が無くなることで、まちなみがすっきりします。歴史的なまちなみを強調したり、観光地や商店街の特徴的な景観創出の基盤となります。


**デメリット**  
地上機器の設置が必要となり、景観を阻害したり、通行の障害となる場合があります。



**安全・安心な道づくり**

**メリット**  
電柱がなくなることで、歩道が広く利用できます。車イスやベビーカーを利用する人にとっても、通行空間としての機能が向上します。美しいまちづくりは、軽犯罪の防止にもつながります。


**デメリット**  
幅の狭い道では、電柱が速度抑制を促していた側面もあり、自動車等の走行速度がアップする場合があります。また、地上機器によって見通しが悪くなる場合があります。



**災害時の被害軽減**

**メリット**  
台風や地震などの災害時、電柱の倒壊や電線の垂れ下がりとといった危険性が少なくなり、緊急車両の通行や作業性も向上します。また、架空線に比べ、災害時の被害を軽減することができます。

**デメリット**  
架空線に比べ、被害にあいにくいものの、もし被害にあった場合、早期に仮復旧を行うため、民地内に仮電柱が必要になることもあります。



**メリット** **デメリット**

無電柱化整備には、上記のようなメリット、デメリットがあります。このため、整備にあたっては、デメリットを克服していくことが求められています。



# 無電柱化の整備例

**主計町**

軒下配線の例。道路幅が極めて狭く、地中化が困難なため、電線類の一部を建物の軒下等に配線してあります。



**文化的景観創出ゾーン**

**犀川左岸・桜坂**

NTT単独地中化で埋設されていた管路（既存ストック）を活用することで、工事費などの軽減を図ることができました。犀川や都心の眺望もすっきりと見渡せるようになりました。



**まちなか賑わい創出ゾーン**

**木倉町通り**

金沢の中心部に位置する飲食店街。道路幅が狭いため、地上機器は小公園など道路沿いの公共用地3箇所に分けて**集中配置**し、すっきりとした景観になりました。



お問い合わせ先 **金沢市 土木局 道路建設課 無電柱化推進室**

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号 TEL. 076-220-2314 FAX. 076-260-6921  
E-mail: mudentyu@city.kanazawa.lg.jp

金沢市 無電柱化推進室 検索

# 金沢らしい まちなみづくり ～金沢方式無電柱化の推進に向けて～

